



立神峡だより

立神峡に早くも春の訪れ 水仙や梅の花が咲き誇る

長い冬からようやく抜け出し、立神峡公園にも春が訪れました。公園内には、赤・白・桃色の大小10数本の梅の花や、水仙の花などが植栽されています。冬の寒さにもめげず、凛として咲く花は、対岸からもくっきりと見え、公園内の風景に馴染んでいます。

その下には、白い水仙の花が咲き誇り、氷川の川面と一体化しており、散歩の足を止めてカメラを手に取る人もいます。

3月は寒い冬から解放された様々な植物が一斉に芽吹く季節です。ここ立神峡公園も桜・芝桜などが咲き誇る季節となりました。

皆さまも、移り行く季節の瞬間をお見逃さないよう、立神峡公園を散策してみたいかがですか。スタッフ一同お待ちしております。



▲美しい風景を堪能できます

春の風物詩 たけのこ掘り

今年は暖冬に加え、表年とも重なったことで、たけのこの収穫が大いに見込まれます。

昨年は裏年でほとんど収穫が無く、また、竹林整備を実施したこともあって、竹林面積が大幅に減少しましたが、その分今年たけのこの成長が早く、八代市東陽町では12月から収穫・販売が行われています。

立神峡では、里山の景観維持、体験学習、環境学習などに力を入れています。

楽しい思い出作りに、春の風物詩のたけのこ掘りに挑戦してみたいかがですか。



▲立派なたけのこが採れます

語り継がれる河童伝説

1月27日の読売新聞日曜版の「よみほっと」に、「語り継がれる河童伝説」というタイトルで、立神峡の河童伝説が掲載されました。

1面には八代地方の晩白柚の大きな写真が掲載され、裏面に立神峡の写真とコメントが掲載されました。

ヤマトタケルの父である景行天皇の巡幸など、古くからの伝承が数多く残る八代地方ですが、中でも興味深いのが河童伝説との書き出しです。

「河童ゆかりの地はお隣の氷川町にもある。川辺には誰がいつ据え付けたのか、小さな河童の石像も。古き日本の懐かしい風景がここにある。」(一部新聞より抜粋)

この新聞の切り抜きと珍しい河童の焼き物を管理棟の窓口に置き、河童の事で熱く語り合いたいものです。



▲河童の焼き物

BSテレビ東京が取材に来ました

2月1日(金)に、BSテレビ東京の「出発!ローカル線 聞き込み発見旅」という番組から取材がありました。近くの住民からの聞き込みで推薦したい場所を紹介するというので、レポーターと紹介者とのトーク形式で進行する番組です。ぜひご覧ください。

放送日:3月4日(月)18時55分~22時 BSテレビ東京

【お問い合わせ先】 立神峡公園管理棟

☎ 62-1543 FAX62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページ

<http://tategami-camp.com>

文化財つれづれ

氷川町内の文化財を紹介するコーナーです。



三神宮子供神楽・巫女神楽(町指定無形文化財)
今月号も引き続き、三神宮に関わる文化財の「子供神楽・巫女神楽」を紹介いたします。
子供神楽は、昭和7年、氏子による子供神楽の養成が立ち上がり、氏子総代の賛同を得て始められました。神楽の起源は「天岩戸神話」と言われており、舞を舞って神さまを迎えたものと言われています。神楽にはその内容



「樽みこし」が、男子は「子供神楽」女子は「巫女神楽」として行われるようになりました。演目は三舞ですが、優雅さをしのばせるものです。
巫女神楽は近年になって奉納されるようになった神楽です。昭和63年、下宮地区において「宮原三神宮巫女神楽保存会」が結成され、それまで子供で行われていた「樽みこし」が、男子は「子供神楽」女子は「巫女神楽」として行われるようになりました。演目は三舞ですが、優雅さをしのばせるものです。

【お問い合わせ先】 氷川町教育委員会 生涯学習課 ☎52-5860

新着図書

一般書	児童書
いわし缶レシピ 磯村 優貴恵/著	はじめてのAI 中島 秀之/作
熱帯 森見 登美彦/著	おててをぼん ささがわ いさむ/作
一切なりゆき ~樹木希林のことば~ 樹木 希林/著	海でギリギリ生き残ったら こうなりました。 鈴木 香里武/著
五高・東光会 荒牧 邦三/著	5分後に緊迫のラスト エブリスタ/文
ゼロから始める フルマラソンの本 内山 雅博/著	嘉納治五郎 日本のオリンピックの父 佐野 慎輔/著

開館時間

平日 10時~18時
木曜 10時~20時
土日曜 10時~17時

休館日

月曜・祝日
※詳しくはスタッフにお尋ねください。

【お問い合わせ先】 八火図書館 ☎62-3489 <http://www.hikawa-lib.jp/info/hakka/>

八火図書館だより

今年度も残りわずかとなりました。来年度に向けて色々準備をしているこの時期だからこそ、心に少しのゆとりを持ちたいものです。
皆さんはこの1年を振り返り、読もうと思っていたけどなかなか忙しくて読めなかった本などはありませんか。
本を読むことで、新しい知識や人生のヒントが得られるかもしれせんよ。

「読書は心の栄養」という言葉があります。生活の中に読書を取り入れて、人生をより豊かなものにしていきましょう。八火図書館では皆さんの読書活動を応援しています

